

# ポートフォリオを活用した学びとその学びを支援する教材開発に関するご紹介

©公益財団法人 日本漢字能力検定協会

## ポートフォリオを活用した学びについて

※森本教授のお話をもとに、弊協会が作成。

### ■教育におけるポートフォリオとは？

学習、スキル、実績を実証するための成果(work)を、ある目的のもと、組織化／構造化しまとめた収集物。  
(例) ノート、プリント、ファイルにまとめたプリントやワークシート、グループで作成した発表資料等

### ■ポートフォリオの役割

- ①学習者の学習・評価を継続的に促進させるためのツールとしての役割
- ②学習者の学習成果や成長を引証付ける学習エビデンスとしての役割

### ■ポートフォリオを活用した学びの効用

今、求められる資質・能力を評価しようとしたときに、テストだけで評価することは児童・教員ともに困難です。

そのため、「テストで〇点取った」や「〇〇検定に合格した」などという結果に焦点を当てた学習評価ではなく、**その学習や経験を通じて、「何ができるようになったのか」、「何ができなかったのか」、「何を学んだのか」、「どのように学んだのか」、「次にどのように生かすのか」などのプロセス（振り返り）に焦点を当てた学習評価**を児童・教員ともに行っていくことが重要です。

自身の学びを振り返ることによって、学び方を身につけながら、自分の良さや可能性、成長を実感できるようになります。まさにポートフォリオを活用した学びは、**児童中心の学びには欠かせないもの**と言えます。

## 弊協会のポートフォリオを活用した学びを支援する教材開発

### ■『学びの成長実感ノート』の特長

- ・『新学習指導要領』の3つの柱のうちの、「**知識及び技能**」、「**学びに向かう力、人間性等**」の「**資質・能力**」と対応させ、開発されている
- ・合否や点数等の検定結果といった定量面ではなく、**学習過程における思い・感情・気づき等の定性面に焦点を当てた振り返りをサポートできる**



漢字・語彙力  
(漢字を読み書きしたり、  
活用したりする力)が  
育まれる

学習過程で  
「考えたこと」や  
「気づき」を言語化する  
力が育まれる

学習を自律的に  
計画・実行・検証・改善  
する力が育まれる

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等  
(思考力・問題解決力・  
コミュニケーション力等)

学びに向かう力、人間性等  
(主体性・粘り強く学ぶ態度・  
自己の学びを調整する力等)

※森本教授の『学習評価の冰山モデル』をもとに、弊協会が作成。

## 監修者・共同研究者のご紹介

森本 康彦（もりもと・やすひこ） 東京学芸大学 教授

大学卒業後、三菱電機株式会社に入社。その後、27歳で教職に。中学校と高校の教壇に立ちつつ、修士・博士号を修得。2004年に大学教員となり、2017年から現職。専門は、教育工学、特に、ICTを活用した学びと評価、教育AI活用。

